

双六岳～三俣蓮華岳～鷲羽岳山行

山行日：2025 年 8 月 23 日（土）～26 日（火）

班 名：ここゆめ班

参加者：Y. S.（CL）、H. F.（SL）、E. S.（会計）、K. Y.、K. F.、K. G.

記 述：K. Y.

コース：8 月 23 日（土）和歌山市 17：00－奥飛驒駐車場 23：00（車中泊、テント泊）

8 月 24 日（日）奥飛驒駐車場 5：20－わさび平小屋 6：30－鏡平小屋 11：15
双六小屋 15：00（小屋泊）

8 月 25 日（月）双六小屋 4：40－双六岳 6：10－丸山 7：20－三俣蓮華岳 7：45－
三俣山荘 8：35－鷲羽岳 10：50－三俣山荘 12：30（小屋泊）

8 月 26 日（火）三俣山荘 5：40－双六小屋 8：20－弓折乗越 9：50－鏡平山荘
10：30－わさび平小屋 13：30－15：10 奥飛驒駐車場－
和歌山市 23：00

今回のコースは、昨年天候不良のため中止になったもの。当初 8 名の予定が、膝痛、新型コロナウイルスの疑いのため 2 名減って 6 名に。車も当初予定の 2 台から 1 台に変更。

双六岳から水晶岳のコースは通称裏銀座コースと呼ばれ、燕岳～蝶が岳の表銀座コースと対をなし、槍ヶ岳～穂高連峰の絶景を見ながら歩くコース。

夕方、和歌山を出発し駐車場で 1 泊。女性 5 名は車中泊。私は 1 人テント泊。

翌日 24 日、早朝から登山開始。わさび平小屋を経由し、鏡平小屋で小休止し各々かき氷を食べる。

双六小屋まではすこぶる長く疲れる。双六小屋は、過去泊まった山小屋の中で一番良い。8 人部屋の個室に 6 人で、布団と別に清潔なシーツがあり快適。最高なのは、使用済みのトイレトペーパーがそのまま流せる事。料理もおいしかった。

翌朝 25 日は、夜明け前からヘッドランプを装着して登山開始。スタート早々三俣蓮華岳への長い登り。途中、ご来光、朝焼けの中槍穂高が美しい。三俣山荘に到着し、荷物をデポして鷲羽岳へ。鷲羽岳の登りはデイサイトまたは花崗閃緑岩の岩場。遠くから見ると雪溪に見える。

鷲羽岳山頂で双六小屋のお弁当を食べる。あたりはガスが発生しており、水晶岳へ行くか、このまま三俣山荘へ引き返すかを検討する。予報では天候が下り坂だったので水晶岳は断念する。三俣山荘へは昼過ぎに到着し小屋でのんびり過ごす。

三俣山荘は、ジビエ料理が人気の小屋で、夕食のメインメニューは鹿肉のシチュー。朝食は、山小屋では珍しくパン、イノシン肉のソーセージひよこ豆のペーストなどの洋食。トイレトペーパーは残念ながら流せず悪臭あり。

翌朝 26 日、双六小屋で一服、鏡平山荘でコーヒーフロート、わさび平小屋でそうめんを食べて下山。

長い山行でしたが今回も天候に恵まれ、楽しい山行でした。

【奥飛騨駐車場】

駐車場で登山準備。ここから長い行程開始



【登山届投函】



【わさび平小屋到着】



【秩父沢到着】



【鏡池山荘到着】



【テント場と双六小屋が見える】



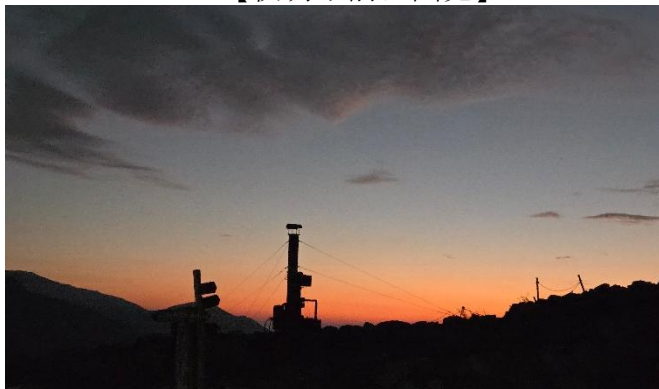
【双六小屋夕食】



【出発準備】



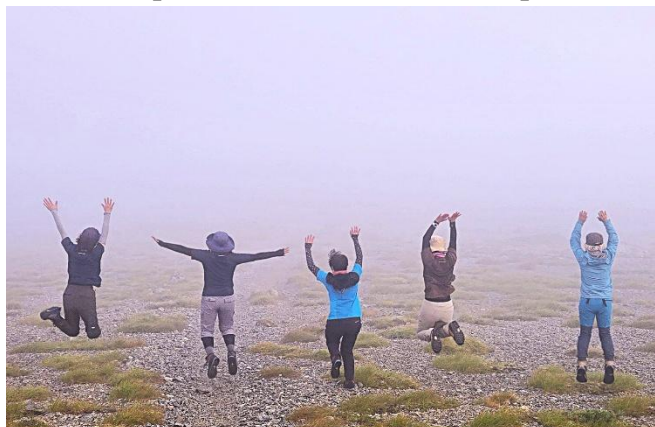
【夜明け前に出発】



【雲海の向こうに槍穂高】



【天空の滑走路でジャンプ】



【双六岳】



【ライチョウ参上】



【三俣蓮華岳】



【三俣山荘到着】



【鷲羽岳へのガレ場】



【鷲羽岳山頂】



【鷲羽池】



【三俣山荘へ向かう】



【三俣山荘内】



【三俣山荘夕食】



【三俣山荘朝食】



【双六小屋を過ぎて】



【わさび平小屋】

